

資料2 熱海地区の津波対策（対応策の具体化）

開催日		H28. 1. 26地区協議会（第2回）		H28. 12. 21地区協議会（第3回）		
分類		意見		考えられる対応策		
				意見		
ハード対策 (堤防施設)	サンビーチ～既存デッキ	<ul style="list-style-type: none"> サンビーチ～渚デッキまでは現況高さのまま（離岸堤・砂浜があるので） 堤防を7mで整備 マリンスパまで デッキ部分 6.6m（現況高） 		(県) <ul style="list-style-type: none"> 地元との合意形成がとれれば、L1津波高さに対する堤防の整備を検討できる。 堤防の高さについては、地元との合意形成により、L1津波高さに対する必要堤防高以下の高さに決めることができる。 渚4工区の早期完成を目指す。 		
	4工区	<ul style="list-style-type: none"> マリンスパ前（渚4工区）の工事を早急にやってほしい 【H28. 11. 28和田浜地区打合せ】 マリンスパ南側は、サンレモ公園側に整備 利用に配慮した（階段状、スロープ状の）擁壁・陸間 階段状の護岸整備（人が逃げられるように） 				
	和田浜南地区	<ul style="list-style-type: none"> 和田浜南は景観に配慮した高さで整備 ソフト対策だけではなくハード対策も必要 0mか7mかではなくその間でも出来る範囲で整備をして欲しい、位置は前面 1.0～1.2mの高さで フェリー乗り場付近には海上の船などが押し寄せてくる→国道への影響 和田浜南は地元の意見をきいては ホテルや漁協の人たちが主 地区の町内会、ホテル関係者と話し合う 【H28. 11. 28和田浜地区打合せ】 防潮堤は整備しない（避難路などソフトで対応する）。 				
	水門整備	<ul style="list-style-type: none"> 3河川の水門整備 水門をつくる（マリンスパまで） 河川、河口、水門整備（スカイデッキ～渚デッキ） 				(県) <ul style="list-style-type: none"> 堤防の整備にあわせて、二級河川への水門を設置する。
	下水処理場	<ul style="list-style-type: none"> 下水処理場自体が避難所となるように整備する 下水処理場は守る（堤防整備） 浄水場付近は眺望に問題ないので施設を守るためにも護岸で囲む 				(市（下水道部局）) 【H28. 10. 20熱海市下水道課打合せ】 <ul style="list-style-type: none"> 下水処理場はL2対応（避難対策と機能維持） 施設の防水化・耐水化が対策のメイン 対策内容は検討中
ソフト対策	全体	<ul style="list-style-type: none"> 暗いときの避難路の表示 サンビーチ避難場所がない 避難路整備（デッキ、歩道橋） サンビーチ周辺のホテル等の意見を聞いてみる 		(市) <ul style="list-style-type: none"> 津波避難計画及びハザードマップの作成 避難階段として活用できる箇所の補修 ソーラーパネル街路灯の設置 		
	和田浜南地区	<ul style="list-style-type: none"> 和田浜は整備せずに避難ビルにて対応 和田浜南 堤防よりも避難路 和田浜南 (国)135号に上がる階段 待合所等の屋上を避難スペースとして活用 【H28. 11. 28和田浜地区打合せ】 夜間の照明（現状は外灯のみ） 旅客船利用者の避難 多い時で500名 国道へ抜ける道、階段 待合所のかさ上げ（普段は展望台） 避難階段整備 色塗りした舗装で避難経路を示す → 「ラインに沿って逃げる」という誘導 （観光客への）案内プレート 50mおきくらいに設置 				